

【主担当部局：医療保健部】

県民の皆さんとめざす姿（令和5年度末での到達目標）

利用者のニーズに応じた介護サービス等が一体的に提供されるとともに、地域住民等による見守りや多様な生活支援が行われるなど、地域の特性に応じた地域包括ケアシステムが構築され、高齢者が介護が必要な状態となっても、住み慣れた地域で自分らしく安心して暮らしています。また、介護基盤の整備と介護人材の確保等により、特別養護老人ホームへの入所待機者が解消されています。

主指標						
目標項目	令和元年度	2年度		3年度	4年度	5年度
	現状値	目標値 実績値	目標達成 状況	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値
介護度が重度で在宅の特別養護老人ホームの入所待機者数		127人		43人		0人
	178人					
目標項目の説明と令和3年度目標値の考え方						
目標項目の説明	介護度が重度で在宅の特別養護老人ホームの入所待機者数（入所を辞退した者等を除く実質的な待機者数）					
3年度目標値の考え方	施設利用者数の見込みや市町の意向等をふまえて、施設サービスを必要とする高齢者が円滑に入所できるよう特別養護老人ホームを整備するとともに、介護人材の確保等により、待機者が解消されることを目標に数値を設定しました。					

副指標						
目標項目	令和元年度	2年度		3年度	4年度	5年度
	現状値	目標値 実績値	目標達成 状況	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値
特別養護老人ホーム施設整備定員数（累計）		10,855床		10,928床		10,998床
	10,586床					
県内の介護職員数		30,948人 （元年度）		32,513人 （2年度）		33,849人 （4年度）
	28,817人 （30年度）					

現状と課題

- ①「みえ高齢者元気・かがやきプラン（第7期三重県介護保険事業支援計画・第8次三重県高齢者福祉計画）」に基づき、地域包括ケアシステムの深化・推進に向けた取組を進めるとともに、令和3年度から令和5年度を計画期間とする新たな計画の策定に取り組んでいます。

- ②特別養護老人ホームの入所基準の適正な運用に向けた施設の実態調査を行うとともに、広域型特別養護老人ホームの整備を進めています。また、地域医療介護総合確保基金を活用し、地域密着型特別養護老人ホームや認知症高齢者グループホーム等の地域密着型サービスを整備する市町を支援しています。引き続き、特別養護老人ホーム等の介護基盤の整備を進めるとともに、地域密着型サービスを整備する市町を支援する必要があります。
- ③介護支援専門員の各種研修を実施し資質向上を図るとともに、介護職員の負担軽減や介護現場における業務効率化に資する介護ロボットや、介護ソフト、タブレット端末などのICTの導入を支援しています。引き続き、これらの取組を実施し、サービスの質の向上や介護人材の確保を図る必要があります。
- ④介護人材を確保するため、県福祉人材センターによる無料職業紹介や、介護福祉士修学資金等の貸付を実施するとともに、介護未経験者を対象とした研修の実施や、外国人材を対象とした集合研修の開催に係る事業所への支援を行っています。また、地域医療介護総合確保基金を活用し、市町・介護関係団体等の取組への支援や、介護職場における機能分担を進めるための「介護助手」の導入・定着に向けた支援などに取り組んでいます。引き続き、介護人材の新規参入および定着促進に向けて取り組む必要があります。
- ⑤地域の中で認知症サポーターを組織化し、認知症の人や家族のニーズに合った具体的な支援につなげる仕組み（チームオレンジ）の構築や、市町における成年後見制度に係る中核機関の設置などの支援を行っています。また、レセプトデータを活用して認知症の人を早期のケアにつなげるモデル事業の実施、認知症ITスクリーニングの活用地域の拡大等に取り組んでいます。今後も認知症高齢者の増加が見込まれることから、早期から適切な診断や対応ができるよう医療と介護の連携を図るとともに、それぞれの地域で本人と家族を支えるための支援体制を構築していく必要があります。
- ⑥地域包括支援センターの職員に対する研修を実施するとともに、市町や地域包括支援センターの要請を受けて、地域ケア会議へ専門職等のアドバイザーを派遣しています。また、市町職員等に対する研修会を実施し、介護予防・自立支援に係る取組が円滑に進むよう支援しています。引き続き、高齢者が地域において自立した日常生活を営むことができるよう、それぞれの地域特性に応じた介護予防・重症化防止の取組や生活支援サービスの充実を図る必要があります。
- ⑦新型コロナウイルスの感染が拡大する中、介護保険事業所・施設等が感染防止対策を徹底しサービスを継続して提供するために必要な経費を支援するとともに、介護施設等において、新型コロナウイルス感染症の発生等により職員が不足する事態に備え、予め、介護施設等の間で応援職員を派遣するための相互応援体制を構築しました。引き続き、感染防止対策に取り組む介護施設等を支援する必要があります。

## 令和3年度の取組方向

- ①次期「みえ高齢者元気・かがやきプラン（第8期三重県介護保険事業支援計画・第9次三重県高齢者福祉計画）」（計画期間：令和3～5年度）」に基づき、地域包括ケアシステムのさらなる深化・推進を図ります。
- ②施設サービスを必要とする高齢者が依然として多いことから、優先度の高い方が円滑に施設へ入所できるよう、入所基準の適正な運用に向けた取組を行うとともに、介護人材の確保の取組をふまえた特別養護老人ホーム等の介護基盤の整備を進めます。また、住み慣れた地域で必要なサービスが受けられるよう、地域密着型サービスの充実に向けて市町を支援します。
- ③介護サービスの一層の充実を図るため、引き続き、介護支援専門員の資質向上に向けた研修を実施するとともに、介護職員の業務負担軽減に資する介護ロボットやICTの導入促進に取り組めます。

- ④介護人材を確保するため、引き続き、県福祉人材センターによる無料職業紹介、マッチング支援等の取組や介護福祉士修学資金等の貸付を実施するとともに、退職を控えた介護未経験者や、技能実習生等の外国人材の参入促進に取り組みます。また、介護職場における機能分担を進めるための「介護助手」の導入・定着に向けた支援に取り組みます。さらに、「働きやすい介護職場応援制度」の普及啓発や介護職員に対する相談体制を整備し、介護人材の定着促進に向けた取組を進めます。
- ⑤認知症になっても安心して暮らせる「認知症施策先進県」をめざし、「共生」と「予防」を車の両輪として総合的に認知症施策を推進するため、引き続き、チームオレンジの構築を支援するとともに、市町における成年後見制度利用に係る中核機関の設置を促進します。また、認知症ITスクリーニングの活用地域のさらなる拡大による認知症の早期診療・介入の実施や、SIBを活用した認知症予防に係る市町との協働による事業の実施に向けた検討等を行います。
- ⑥介護予防・重度化防止等に係る市町・地域包括支援センターの取組を支援するため、地域支援事業に係る研修会の開催や地域ケア会議へのアドバイザーの派遣等を行います。また、地域の生活支援サービスの充実に向け、生活支援コーディネーターや就労的活動支援コーディネーターの育成等を行い、市町の取組を支援します。
- ⑦新型コロナウイルスの感染拡大が長期化する中、引き続き、介護保険事業所・施設等の利用者に必要なサービスが適切に提供されるよう、感染防止対策に取り組む介護施設等を支援します。

## 主な事業

- ①介護保険制度施行経費【基本事業名：12201 介護基盤の整備促進】  
予算額：(R2) 5,596千円 → (R3) 5,320千円  
事業概要：介護保険制度の円滑な運営と介護給付の適正化に向け、介護保険審査会の実施やアドバイザー派遣による市町の支援を行います。
- ②介護サービス基盤整備補助金【基本事業名：12201 介護基盤の整備促進】  
予算額：(R2) 583,215千円 → (R3) 337,665千円  
事業概要：施設サービスを必要とする高齢者が、できるだけ円滑に入所できるよう、特別養護老人ホーム等の整備を支援します。
- ③介護サービス施設・設備整備等推進事業【基本事業名：12201 介護基盤の整備促進】  
予算額：(R2) 844,495千円 → (R3) 975,194千円  
事業概要：高齢者が住み慣れた地域で必要なサービスが受けられるよう、地域医療介護総合確保基金を活用し、地域密着型サービスの整備や療養病床から介護医療院への円滑な転換等を支援します。また、新型コロナウイルスの感染防止対策に係る衛生用品等の備蓄を進めます。
- ④介護支援専門員資質向上事業【基本事業名：12201 介護基盤の整備促進】  
予算額：(R2) 29,787千円 → (R3) 30,202千円  
事業概要：高齢者が要介護状態となっても、できる限り住み慣れた地域で自立した日常生活を営むことができるよう、その中核を担う介護支援専門員の資質向上の研修と資格管理を行います。

⑤三重県介護従事者確保事業費補助金【基本事業名：12202 介護人材の確保】

予算額：(R2) 72,042千円 → (R3) 145,633千円

事業概要：地域医療介護総合確保基金を活用し、介護従事者確保のため、「参入促進」、「資質向上」、「労働環境・処遇の改善」に取り組む市町や介護関係団体等を支援します。また、介護施設等が行う介護ロボットやICTの導入等を支援します。

⑥（一部新）福祉人材センター運営事業【基本事業名：12202 介護人材の確保】

予算額：(R2) 39,214千円 → (R3) 44,114千円

事業概要：福祉人材センターに福祉・介護職場に係る求人・求職情報を集約し、無料職業紹介や福祉職場説明会、法人向け研修を実施するなど、福祉・介護職場での就労を希望する人や事業者への支援を行うとともに、外国人介護人材の受け入れに関心のある事業者に対してセミナー・相談会を実施します。また、介護職員の悩み相談窓口を設置し、介護職員の離職防止を図ります。

⑦福祉・介護人材確保対策事業【基本事業名：12202 介護人材の確保】

予算額：(R2) 75,165千円 → (R3) 104,375千円

事業概要：若者や離職者等に対する介護職員初任者研修の実施と就労支援、学生等に対する福祉・介護の魅力発信や介護フェアの開催、小規模事業所等に対する人材確保と定着のための支援、潜在的有資格者の介護職場への再就業促進、働きやすい介護職場の応援制度の運用や、介護未経験者のための入門的研修の実施に取り組みます。

⑧外国人介護人材確保対策事業【基本事業名：12202 介護人材の確保】

予算額：(R2) 15,259千円 → (R3) 20,503千円

事業概要：外国人技能実習生等を対象とした介護技術の向上を図るための集合研修を行います。また、外国人留学生の就労先の介護施設等が実施する奨学金制度を支援します。

⑨認知症ケア医療介護連携事業【基本事業名：12203 認知症施策先進県に向けた取組】

予算額：(R2) 41,379千円 → (R3) 41,909千円

事業概要：認知症の早期発見・早期治療につなげるため、認知症疾患医療センターの更新、認知症サポート医の養成等を行います。また、三重大学医学部附属病院が行う「ITスクリーニング」や、レセプトデータの調査・分析の取組等を支援します。

⑩認知症地域生活安心サポート事業

【基本事業名：12203 認知症施策先進県に向けた取組】

予算額：(R2) 15,541千円 → (R3) 15,448千円

事業概要：認知症サポーターの養成を行うとともに、その活動の促進に向け、サポーターを組織化して認知症の人や家族への支援につなげる仕組み（チームオレンジ）の構築に取り組む市町を支援します。また、市町における成年後見制度に係る中核機関の設置の取組を促進するため、アドバイザーの派遣、研修会・報告会の開催に取り組みます。

⑪地域包括ケア推進・支援事業【基本事業名：12204 介護予防・生活支援サービスの充実】

予算額：(R2) 3,910千円 → (R3) 2,867千円

事業概要：地域包括支援センターの機能強化や介護予防・自立支援の取組の推進に向け、研修や地域ケア会議へのアドバイザー派遣等を行います。

⑫（一部新）高齢者健康・生きがいづくり支援事業

【基本事業名：12204 介護予防・生活支援サービスの充実】

予算額：(R2) 17,625千円 → (R3) 15,989千円

事業概要：高齢者が健康で、生きがいをもって社会活動ができるよう、生活支援コーディネーターおよび就労的活動支援コーディネーターを養成する研修を実施するとともに、全国健康福祉祭（ねんりんピック）に三重県選手団を派遣します。

⑬（一部新）介護保険サービス事業者・施設指定事業【基本事業名：12201 介護基盤の整備促進】

予算額：(R2) 10,294千円 → (R3) 161,258千円

事業概要：介護保険法に基づき、介護保険サービス事業者の指定（許可）を行います。また、新型コロナウイルス感染症が発生した介護保険施設・事業所等に対し、介護報酬の対象とならないかかり増し経費の支援等を行います。